



挑戦の伴走者に、  
熱意のつなぎ役に **G-net**

NPO 法人 G-net

# Annual Report

---

年次報告書  
2021-2022

# 挑戦の伴走者に、 熱意のつなぎ役に

## 代表挨拶



代表理事  
南田 修司

原点の“岐阜”に向き合い、まちの暮らしや地域に根付く文化に出会い直す。人と地域の関わりが当たり前生まれるまちづくりに向けて。

コロナ禍突入から2年半が経過し、依然として様々な社会活動に大きな影響を与えています。経済状況が安定せず、不安を抱えて生活する若者、また、世界情勢の不安も重なり、より厳しい環境に置かれる地域企業の方々に出会うことも少なくありません。

G-netにおいても、インターンシップや就職採用支援事業は未だ立て直しの最中であり、いまでは18年に立ち上げたふるさと兼業事業が大きな柱となっています。コロナ禍をきっかけとした全国的なオンライン環境の拡がり、可処分時間の増加などを背景に、G-netの取り組みそのものも様変わりしています。

一方で、オンライン環境に対応し続けてきたからこそ、地域そのものに目を向け直す、足元を見つめる1年だったようにも思います。人と企業にフォーカスしてきたから見えてきたことがあり、だからこそ見落としていたこともあると感じる機会にたくさん出会いました。改めて目の前の1人、1社、1地域と共にあるG-netとは何か?を問いかけられる1年でした。

「人と地域の関わりが自然と生まれる生態系・文化をどうつくるのか?」

スタッフと共に、この1年向き合ってきた問いです。人と企業に留めずに、地域にまで視野を広げる、そのために足元の“岐阜”をもう一度見つめ直す。自分たちができることを自覚し、多様な人たちと共に挑戦していく。そのための土壌をもう一度耕していく。

設立から21年目、僕が2017年に継いだ狭義のG-netでなく、2001年に産声をあげた広義のプロジェクトとしてのG-netの目線に立って、人と企業と地域をもう一度つなげていく。そうした役割を担いたいと考えています。コンセプトを共有し、個々が持つ強みを重ね、役割を分担しながらビジョンの実現を目指す。G-netが何をするか?でなく、地域の中で役割を自覚し、組織を超えた仲間を作り、共創していく。そんな存在を目指し、歩みを進めていきます。

激動の時代、変化を余儀なくされるひとりひとりや1社1社の挑戦者と共に、次の時代の当たり前と、本当はこうだったらいいのに、にまっすぐに向き合うことを大事に取り組みを進めていきます。

もう一步踏み込んだ挑戦の伴走者を目指して。

## CONTENTS

代表挨拶	2	事業紹介 ● 若者向け	12
G-net Mission / Vision	3	● 社会人向け	13
G-net History	4	● 企業向け	14
2021→2022 Topics	6	Data	15
Model Case	8	Connection	16
G-net Alumni	9	Partner & Supporter	17
目指す地域の姿	10	Partner Message	18
		会計報告	19

# G-net Mission

## 私たちの使命

地域産業の経営革新と、担い手となる右腕人材の育成に取り組み  
地域活性を支える事業を生み出し続ける

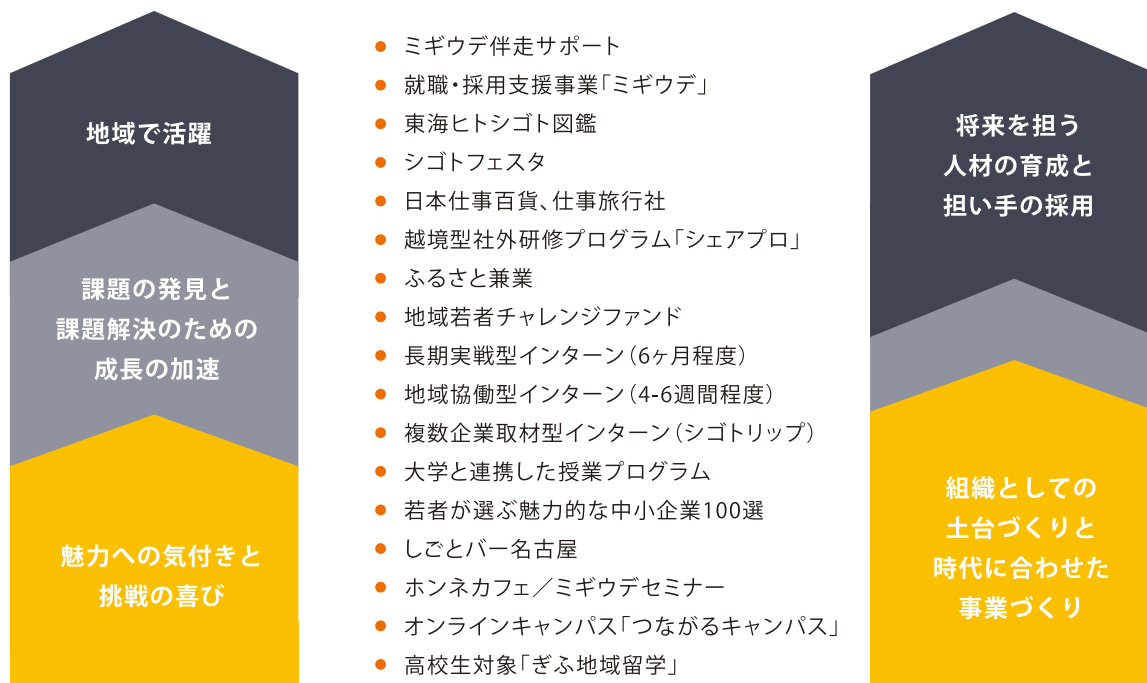
# G-net Vision

## 私たちの目指す社会

誰もがチャレンジを保証され、支え合うことができる  
そして、挑戦が評価され、連鎖する社会の実現を目指す

G-net が考える地域活性には、地域の当事者となる人材の育成と活躍するフィールドとなる産業の活性が欠かせない。しかし、ひとつひとつの成長や変化を実現させる絶対的な解はなく、時代や環境の中で常に変化を続けている。そのため、大切にしたいことは『常に挑戦的である』こと。このまちの挑戦の絶対数を増やし、挑戦の精度が高まるコミュニティを構築することで、変化や成長を実現できる地域づくりを目指していきたい。そして、地方都市岐阜から始めることで、他地域や社会全体に波及させていく。

### G-net の取り組む打ち手



#### 事業のポイント

- ① 人材が育まれる、生産性が最大化できる組織づくり
- ② 挑戦的なフィールドを開拓し、成長できる機会提供
- ③ 自身の当事者へ、そして社会の当事者へと成長できるコミュニティづくり
- ④ 共感を呼ぶ事例を創出し、挑戦を誘発する仕組みづくり
- ⑤ 成果にコミットし、多様な組織と共創できるグランドデザイン

# G-net History

## 第1フェーズ 主体者としてのG-net／期間限定団体(6ヶ月)として立ち上げ

### 『03』 NPO法人格を取得

『01~04』 カウントダウン



年越イベントを開催。

『01~』 トークライブ



全国から挑戦者を岐阜に招聘。チャレンジ精神の伝播。

『02~07』 ビーンズフェスタ



挑戦する夢の豆が集まる年に1度の祭典。

『03~07』 フリーペーパー



ORGAN／Beans!の発行  
チャレンジする人を取材し若者へ

## 第2フェーズ 伴走者としての挑戦／まちづくりからひとづくりへのシフト

### 実践型インターンシップ／UIターン支援事業

経産省／チャレンジコミュニティ創成事業採択 『04~06』

- 『04~』 「ホンキ系インターンシップ」事業を開始
- 『10~』 「地域協働系インターンシップ」事業を開始
- 『13~』 複数企業取材型インターンシップ「シゴトリップ」事業を開始



インターンシップフェア

10人程度から始まったフェアも100人を超えるイベントに

- 『07』 岐阜大学等授業開始
- 『08』 ノウハウ移転事業 開始
- 東紀州地域 『08~』 岡崎市 『12~』
- 『10』 地域若者チャレンジ大賞受賞
- 『13』 岐阜信用金庫/百五銀行事業提携
- 『14~』 名古屋学院大学現代社会学部連携
- 『15』 飛騨信用組合事業提携
- 『16』 中小企業経営革新賞受賞
- 『16』 名古屋商科大学連携協定締結
- 『18』 内閣府地方創生インターンシップ推進委員就任

### 創業支援・中間支援事業

経産省／創業支援フォーラム・創業塾開催 『06』

- 『07~09』 インキュベーションオフィス「かけたす」開所
- 『08~』 株式会社ブラザー工業協賛「東海若手起業塾」を開始
- 『13~』 岡崎ビジネスサポートセンター「OKa-Biz」始動



東海若手起業塾

ボードメンバー、事務局、伴走コーディネーターを担当



OKa-Biz

創業者、秋元祥治がセンター長に就任。行列のできる経営相談所に

経済産業省「新連携」「地域資源活用プログラム」との連携創出(『06~08』)／経営力向上に向け理事会改組 外部理事を招いた組織運営にシフト(『09~』)／東日本大震災復興支援活動(『11』)／みちのく復興インターンシップに参画(『12』)／岐阜大学「学生ボラネット」立ち上げに参画(『12』)／ゴールドマンサックス中小企業経営革新プログラム採択(『14』)

## 第3フェーズ 伴走からコミュニティづくりへ／地域産業の経営革新と右腕人材の育成へ

### 就職・採用支援事業(ミギウデ事業)

中小企業の右腕に特化した就職採用支援事業をスタート

- 『13~』 就職採用支援事業「ミギウデ」事業を開始
- 『13』 若者が選ぶ岐阜の魅力な会社100選発行
- 『16~』 中部経済産業局「中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」採択



- 『12』 キミはまだ99%の会社を知らないオモシロ中小企業26選発行
- 『12~』 日本仕事百貨(株式会社シゴトヒト)との連携開始
- 『12~14』 岐阜「中小企業と若者」就職白書vol1,2発行(地域の若者と企業と地域のための研究所)
- 『15』 グロービス経営大学院名古屋校と連携した社会人向けプログラムを実施
- 『15~20』 地域中小企業に特化した合説「シゴトフェスタ」を開催
- 『15~』 日本仕事百貨、大ナゴヤ大学と連携し「しごとバー名古屋」開始
- 『17~21』 一般社団法人地域・人材共創機構が事務局を務める Career forに参画

### 兼業・プロボノ支援事業(ふるさと兼業)

都市部と地域を繋げる社会人向け事業をスタート

- 『18~』 兼業プロボノ支援事業「ふるさと兼業」を開始
- 『21』 日本の人事部「HRアワード2021」入賞
- 『21~』 法政大学大学院石山研究室と共同研究開始
- 『21~』 「岐阜県プロフェッショナル人材戦略拠点」人材紹介事業者として登録
- 『21~』 株式会社Yogiboの「社会課題解決プロジェクト TANZAQ」採択



- 『18~』 大手向け研修プログラム開始(旧富士ゼロックス株式会社)
- 『19』 フリーランスパートナーシップアワード2019 エージェント部門大賞受賞(掛川遥香)
- 『20~』 一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会が運営する「求人ステーション」の認定マッチング事業者として参画
- 『20~』 トヨタ自動車株式会社先進技術開発カンパニーの研修受入開始(「先進PT☆プロボノ」)

地域若者応援ファンド「Beans Fund」の新設(『12~』)／案天株式会社と連携し、インターン×中小企業のネットショップ支援プログラムを実施(『15~16』)／クラウドファンディングで支援を受け事務所を改装・コワーキング化(『15~』)／LGBTフレンドリーな組織作りを目指し社内規定を改定(『16』)／株式会社仕事旅行社との連携開始(『19~』)

## 第4フェーズ ▶ 地域の新たなモデル創出へ／人材と企業のトータルコーディネート

個々のサービス提供から地域企業に寄り添う一気通貫型の伴走支援サービスへ移行し、企業課題を起点とした総合的な人材支援、組織開発支援を開始。また、年齢や立場に関係なく多様な形態で地域と関わることができるプラットフォーム運営に着手。全世代対応型の人材キャリア支援を本格化。

### 年間伴走型企業支援事業

多様な人材活用を通じた、企業課題に寄り添う支援事業をスタート。

インターンシップやミギウデ、兼業などの多様な人材活用をハイブリッドで提供する形態を本格化。

- ('19~) 就職採用支援事業とインターン事業を統合。年間を通じて個別支援する「年間伴走支援」を開始
- ('19~) 一般社団法人ONEXとの協業開始。コーディネートの仕組み化に着手
- ('19~) 一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会と提携し、兼業・プロボノ向け賠償責任保険付き福利厚生サービス「ベネフィットプラン」提供開始
- ('19~'20) インターンシップに限定しないプロジェクト型マッチングイベント「カケタス」を開催
- ('20~) 中部経済産業局の受託事業により「多様な人材活用ガイド」リーフレット('20)、  
「中小企業における多様な人材の活用事例集」('21)を制作
- ('20~) 年間伴走型の企業支援において、社員育成や評価基準の導入などを実施。伴走領域の拡大
- ('21) 関東経済産業局「中小企業等に対する外部人材確保支援等事業 兼業・副業人材活用検討会議」第2,3回、  
東北経済産業局「東北地域における外部人材活用に向けた検討会」にそれぞれ委員として参加
- ('21~) 関係人口マッチング後の定着を支援する「関係人口定着支援プログラム」と「関係人口コーディネーター養成プログラム」の提供開始



### 立場や年齢を超えたキャリア自律支援事業

高校生、大学生、社会人などの年齢における棲み分け、地域内、地域外などの拠点における棲み分けなど、これまで当たり前に区別して取り組んでいた事業を統合。年齢や立場、居住地や環境に左右されず、地域に関わることができる全世代型キャリア自律支援の取り組みへ。

- ('19~'21) 一般社団法人地域・人材共創機構が発行するローカルキャリア白書vol1,2,3にCareer for 参画団体として協力
- ('20~) 高校生向けローカルリーダー育成プログラム「ぎふ地域留学」開始
- ('20~) インターンシップとふると兼業のノウハウを活かし、大学生の新たな働き方モデル「学生兼業」を試行開始
- ('20~) コロナ禍の影響を受ける若者を支援するオンライン上の仮想キャンパス「つながるキャンパス」開校
- ('20~) ミギウデ事業を通じて支援してきた人材のコミュニティ「ミギウデたちのslack」を立ち上げ
- ('20~) Co-Innovation University (仮称)の立ち上げ事務局への参画開始
- ('20~) コロナ禍における学生・若手社会人の経済的支援「キャッシュオーバーワーク」学生兼業を開始
- ('21~) つながるキャンパス内で社会連携ゼミを開始



### 2022年度は、事業を横断的に繋ぎ、「人材還流の生態系・文化」づくりを本格化

- ① 足元の岐阜圏域に向き合い、地域の人事部など、様々なステークホルダーとの連携体制を構築
- ② コーディネータープラットフォームを立ち上げ、越境型研修や副業兼業など地域と人の持続的な関わりシロの仕組みをアップデート
- ③ 東海ヒトシゴト図鑑などの仕組みを活用し、個社毎の点の支援から、横で繋ぐ面の支援へと移行

社会変化をリードし、最先端のモデルづくり、生態系づくりを推進していきます。

2021 >> 2022

この1年もG-net社内外で色々なことがありました。  
ここでは、その一部をご紹介します。

## TOPIC 1 HRアワード2021にふるさと兼業が入賞しました



企業の人事、経営者、管理職やHRソリューション企業、研究者などの会員で構成される日本最大のHRネットワーク「日本の人事部」が主催する「HRアワード2021プロフェッショナル部門」に、ふるさと兼業が入賞しました。トヨタ自動車株式会社先進技術カンパニーをはじめとした大手企業の越境型研修プログラムの実績や共感を起点としたマッチングの仕組み、全国各地のNPO等と連携した運営モデルなどを評価していただきました。サービス立ち上げから3年、700人近くのマッチングを創出する取り組みとして成長してきたことが、ブランド力のあるHRアワードにて認められたことは、大きな自信につながると共に、多くの人に知っていただくきっかけにもなりました。

ふるさと兼業は、支援エリアの拡大や各地でのプロジェクト件数の増加など、更なる拡大を目指していきます。地域と人の多様な関係構築の入り口として、また地域と関わり続ける持続的なプラットフォームとして、質の高いマッチング実現に取り組めます。

## TOPIC 2 (仮称) Co-Innovation University 設立に向けて



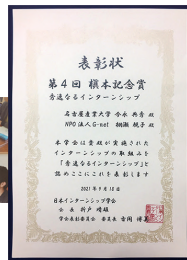
G-netが2020年度より設立事務局に参加している飛騨高山大学(仮称)は、昨年名称を(仮称)Co-Innovation Universityへと変更し、本格的なカリキュラム設計、全国各地との地域連携を進めています。“共創学”を根幹に、全国各地(13地域)を繋げ、多様な地域企業・団体と共に実践的なプログラムを提供できる体制づくりに取り組んでいます。

G-netは、実践カリキュラム「ボンディングシップ」プログラムの開発に加え、設立事務局にスタッフが出向し、事務局メンバーとして、地域連携や広報、体制整備など一歩踏み込んだサポートも開始。2021年には、全国各地と連携し、ボンディングシップの実証実験を実施し、質向上に向けた試行錯誤をスタートしています。教職員・地域機関がビジョンを共有し、共創可能な体制を整えることで、理念を体現できる組織づくりを進め、若者の新たな学びの環境づくりを進めていきます。

開学までの道のりはまだまだ遠く、数多くの壁を乗り越えていく必要がありますが、事務局や応援して下さる方々と協力し、ひとつずつクリアしていけるよう引き続きチャレンジしていきます。ぜひ共に設立に取り組む仲間として参画、応援ください。

※連携する13地域は2022年5月時点

### TOPIC 3 シゴトリップが日本インターンシップ学会の「秀逸な事例」を受賞



日本インターンシップ学会の2020年度全国大会で、名古屋産業大学准教授 今永典秀氏と共同発表した論文「地域企業の魅力発見インターンシップ-地域企業を複数社体験するNPO法人G-netによるシゴトリップの事例より-」が、2021年9月18日に日本インターンシップ学会の榎本記念賞「秀逸なるインターンシップ」にて「秀逸な事例」に表彰されました。今後も企業・学生双方、そして地域にとってより良いかたちにつながるようなインターンシッププログラムの開発に取り組んでいきます。

### TOPIC 4 YogiboSOCIALGOODプロジェクトに採択されました



株式会社Yogibo社のスポンサーを通じて社会課題解決事業を支援するTANZAQプログラムにふるさと兼業が採択されました。「ふるさと兼業公式Youtubeチャンネル」を活用した、受入団体向けの実践事例動画の発信や、GTワールドチャレンジ・アジアでのロゴ掲載などの広報活動の強化や、「Yogibo×ふるさと兼業社会事業支援プログラム」を企画し、社会課題解決に取り組む非営利団体の支援を開始しました。北海道・東京・静岡等の5団体に、ふるさと兼業を通じてプロボノ人材をコーディネートし、運営をサポートしています。

### TOPIC 5 事業承継を支援するプログラム「お試し事業承継」をリリース!



副業兼業等のグラデーションのある関わり方を入りに、事業承継者や幹部候補をマッチングする取り組み「お試し事業承継」「お試しCxO」プログラムを始めました。2021年12月にリリースした第一弾のプロジェクトには20名以上の応募があり、CxO候補として3名がマッチングしました。オーナーや社員との関係性、風土や社内文化との折り合いなど、様々な課題がある親族外への事業承継問題に対して、経営スキルを持つ人材の発掘のみならず、経営幹部候補として副業等の多様な働き方で挑戦できる機会を提供しています。0か100かで承継するのではなく、時間をかけてお互いが見定めながら、権限を適切に移行できる仕組みづくりを進めていきます。

### TOPIC 6 つながるキャンパス運営委員会を立ち上げ



登録者  
1060名



運営委員  
50名

2020年4月の開校から2年が経過し、つなキャン全体で1000名を超える(U24世代の若者、サポーター)キャンパスへと成長しました。プロジェクトの自立的な運営を目指し、2022年4月に運営委員会体制へと移行し、現在総勢50名の社会人や若者で運営に取り組んでいます。新体制のもと、多様な世代がナナメの関係性の中で学ぶ「キャリアデザインラボ“マヴィ”」、地域や社会のリアルな挑戦をフィールドに学ぶ「社会連携ゼミ」など、様々なプログラムが新たに始まりました。今後、キャンパスのweb化やメタバース化などを進め、新たな地域と若者のつながりづくりを進めていきます。

# Model Case

## MODEL 1 太美工芸株式会社



プロボノ・兼業者を受入れ、  
2年間で新規事業を全体売上の0.1%から8%に。  
業務委託メンバーが社外広報部となり  
組織変革も推進。

(’20~) 先進☆プロボノ参画3名  
(’21~) ふるさと兼業導入3名  
(’21~) 伴走型支援導入

### 具体的取り組みと成果

- 1 コロナ禍で業界全体が冷え込む中、toC事業の拡大を図る。トヨタ自動車のプロボノ研修プログラムを活用し、自社商品の広報戦略の見直しを行い、SNS発信やニュースリリースなどを実施した。その経験を活かし、副業兼業人材を中心とした広報チームを新設、多様な人材を活かした組織作りを推進。
- 2 町工場的な経営体制だったが、社内の役職設定やチーム運用の仕組みの見直し、勉強会等の人材育成計画、採用計画のアップデートなどを積極的に進め、時代に対応できる持続可能な組織への変革に取り組んでいる。

### 経営者コメント

コロナ禍の打開策としてEC事業に参入するも、技術者ばかりの町工場だったこともあり、新規事業推進に限界を感じていました。そんな時、トヨタ自動車先進技術カンパニーが実施するプロボノ研修の話を聞き、挑戦させて頂きました。プロボノ人材は、新規事業推進において大きな力となり、変革のきっかけになってくれました。今では、組織づくりや人材育成、採用など、将来に向けた会社作りへの支援も頂いています。様々な人材活用方法を知っているG-netの伴走支援は、私にとって今では欠かせない時間です。



## MODEL 2 藤井電気工業株式会社



鉄道電気工事が鉄道ツーリズム事業を実施。  
副業兼業人材の活用を通じて、  
採用につながる長期的な取り組みが  
進められる体制に。

(’21~) ふるさと兼業導入3名

### 経営者コメント

2年前の出会いから、ふるさと兼業を通じてプロボノを含め異業種の方々とのご縁を戴きました。毎週のリモート会議は、しばしば脱線しますが、普段感じていることや想いを伝え、ヒントや気づきを頂けることが多く、それが新しい挑戦に繋がっています。強みを伸ばし、弱みを改善する。まだまだごく当たり前のことをやれていない会社ですが、あの会社面白そうだから働いてみたいと思って戴けるよう、今後とも伴走の程宜しくお願い致します。



### 具体的取り組みと成果

- 1 自社の認知拡大、新規事業への挑戦の打ち手としてふるさと兼業を導入。鉄道好きなプロボノ人材が参画し、既存事業のリソースを生かした体験型イベントを鉄道会社とタイアップして開催することができた。
- 2 人事機能がない中、人事の専門性をもった外部人材を採用し、採用戦略立案から実行までのプロセス見直しに取り組んだ。社内にはないノウハウを外部から集めることで、自社に合った採用、人材戦略の試行錯誤に繋がった。



# G-net Alumni プログラム卒業生の活躍

MODEL 1

田畑(鈴木)陽 さん

株式会社井上工務店 / CoIU(仮称)事務局 大学構想企画室

profile

1995年生まれ関ヶ原町出身。名古屋大学情報文化学部卒。公務員を目指していたが、ミギウデ就活をする中で飛騨五木に出会い、2018年に入社。2021年から同グループの井上工務店に転籍し、現在は私立大学の 신설プロジェクトに従事。



G-net との縁を一言で

想いで動く人々との出会い  
「こう在りたい」と思える存在

## イチ中小企業から大学づくり地域づくりへ

(担当コーディネーターより)

小心者な部分もありつつも勇気をもってより本質的に社会を変えていけると思えることに挑戦をする陽さん。ミギウデとして悩んだ時期もありつつも、理解力と経営者目線を活かして同期や後輩たちのまとめ役となる。井上工務店転籍後は私立大学新設に向けた一大プロジェクトにコアメンバーとして活躍中です。

MODEL 2

西角綾夏 さん

一般社団法人We are Buddies コーディネーター

profile

1997年生まれ春日井市出身。早稲田大学大学院(教育学研究科)卒。岐阜大学教育学部時代は、大橋量器とG-netでインターンシップを経験。現在は、子どもの心の孤立を防ぎ、社会全体で子どもを育てる風土を醸成するWe are Buddiesで勤務。



G-net との縁を一言で

どんなときも支えてくれて、  
自分らしい挑戦の場をくれるホーム

## 向き合い続けることでみえてきた出会いとキャリア

(担当コーディネーターより)

ファーストキャリアをどうするか?色んな道の可能性を感じていた中で、学部生時代も院生時代も決め切らずにいました。そんな中、自身にある1つの答えが見つかり、WaBと出会い、そこからグッと自身とキャリアへの歩みの解像度と納得度があがりました。WaBを通じて実現したい社会を、望むキャリアをつくりあげていくのだろうと思います。

MODEL 3

高橋智志 さん

インパクトサークル株式会社 代表取締役社長/CEO

profile

FinTechスタートアップであるGlobal Mobility Service社の創業メンバー/取締役として国内外の事業開発やエクイティファイナンスを管掌。事業グロースの後、インパクト投資の促進を目指し当社を創業。



G-net との縁を一言で

新しい自分を切り拓くためのきっかけ

## 社会性と経済性を両立する投資プラットフォームを立ち上げ

(担当コーディネーターより)

1年以上に渡るホンキ系インターンシップ時代の恩師が創業した企業に創業メンバーとして参画し、経営幹部として活躍。その後、2021年に独立・起業し「インパクトサークル株式会社」を設立。培った経験を活かし、社会インパクト投資のプラットフォームの構築に向けて事業拡大を推進中です。ホンキ系インターンシップの挑戦から10年以上経った今も変わらずチャレンジし続けています。

# G-netが目指す、 地域に人が集まる人材還流の生態系・文化の創出

水が重力に従い流れていくように、人材もブランドや魅力、知名度といった求心力のある方向へ流れていくのは自然なことです。

若者たちを無理やり地域に集める、地元に残らせるのではなく、地域に多様な挑戦の機会が用意されていることで、様々な経験を経た彼ら彼女たちが大手企業やベンチャー企業と、地域とをフラットに見てもなお、「地域って面白い!可能性があるんだ!」「自分が地域の未来を担いたい!」と思えるような、そんなまちの土壌と仕組みをつくっていきます。

G-netの全ての打ち手は  
「自分たち地域がまず変わることをいつも中心においています。」

若者たちが地域に出会い、価値を見出し、そして、未来の当事者となっていく。  
また、地域や企業そのものが若者たちにとって魅力的な存在に変化していく。  
そんなお互いの変化の先に、「人が集まる地域」がつくられていくと考えています。

## 岐阜のまちから生み出す、地域と人との多様な出会いのプラットフォーム

大手企業やベンチャー企業、公務員といった“わかりやすい”求心力のある方向に向かう大きな流れの中で、【地域を知る・出会う・関わる】様々な機会を若者に届け、関心や当事者意識が生まれる新たな流れを生み出す。

「つながるキャンパス」で地域に出会った若者が、インターンシップに飛び込み、地域の当事者になっていく。

様々なタイミングで若者自身の地域への関心や当事者意識が芽生えていくことで「地域」が“ひとつの”選択肢になる。

ひとつひとつは小さな流れでも、こうした流れが相互に重なり、新たな地域と若者をつなぐ流れを作りだす。そしていつからか、それが若者たちにとって当たり前の流れとして認知される。

卒業後に地域を離れた若者も「ふるさと兼業」を通じて、地域と再び関わるようになる。

## 地域に人が自然と集まる生態系・文化がつくられるためには

若者だけでなく、自分たち地域自身も常に変化し、時代に応じた成長をしていくことが大切です。多様な人を活かす柔軟な土壌、わくわくする挑戦機会、惹きつけられる人との出会いがあるなど、「人が集まる」魅力ある存在となるために、若者以上に地域や企業も学び、挑戦し、変化を続ける地域にしていきたいと考えています。

若者との出会いや関わりを通じて、自分たちがまず学ぶ。その過程の中で、人の魅力・組織の魅力・事業の魅力を育み、地域の中でシェアし、地域全体が魅力的になっていく。短期的な接点創出や露出を獲得するのではなく、時間がかかっても、真に挑戦する地域・企業として変革を続ける存在として若者に認知される、そんな地域づくりを目指しています。

【G-netの役割】

## 地域に根付く

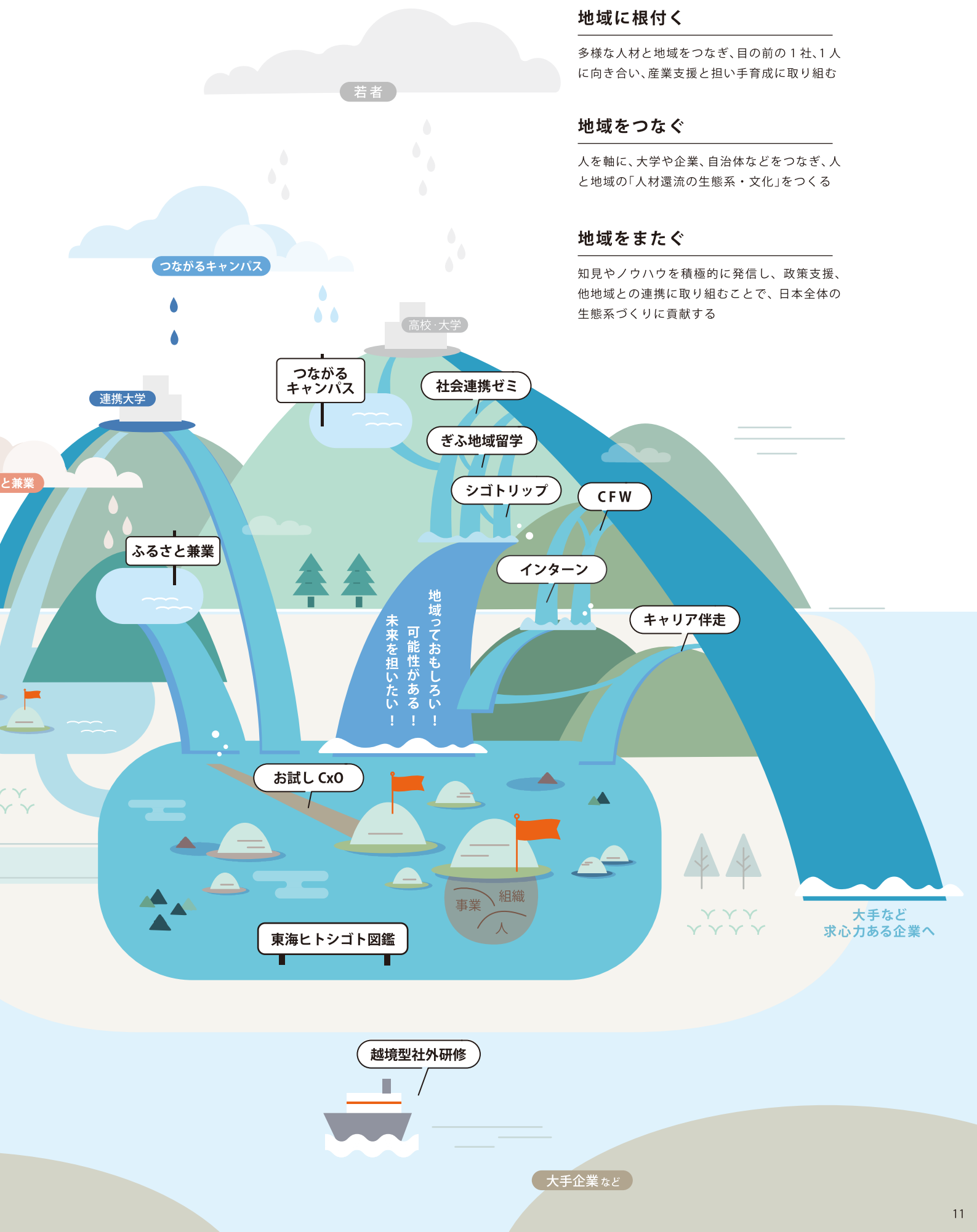
多様な人材と地域をつなぎ、目の前の1社、1人に向き合い、産業支援と担い手育成に取り組む

## 地域をつなぐ

人を軸に、大学や企業、自治体などをつなぎ、人と地域の「人材還流の生態系・文化」をつくる

## 地域をまたぐ

知見やノウハウを積極的に発信し、政策支援、他地域との連携に取り組むことで、日本全体の生態系づくりに貢献する



# 若者と地域の段階的な接点を通じた キャリア自律と担い手としての成長ステップ

G-netは、地域と若者の多様な接点創出を通じて、地域の当事者として次世代を支える人材育成に取り組んでいます。多様な出会いで若者達の興味関心を醸成し、踏み込む挑戦機会が課題やビジョンに対するオーナーシップを育みます。

## 役割

### 出会いと関わりシロを提供し、若者の変化と成長に伴走します

#### つながるキャンパス／高校大学連携

つながるキャンパスは、世代や距離を超えた「つながり」を生み出すオンライン上のキャンパスです。地域企業・大手企業、NPOなどで働く多様なキャリアモデルと交流したり、テーマで選ぶゼミ学習など、「出会い・学び・挑戦」を提供しています。また、2024年に開学を目指す「(仮称)Co-Innovation University」の実践型カリキュラムづくりや高校大学との連携にも着手。若者たちが地域のヒトやシゴトに出会い、文化を体感できる環境づくりを進めています。

#### 社会連携ゼミ／地域留学

地域や社会の中で今まさに取り組まれているリアルな挑戦をテーマに、オーナーと学生が共に学ぶゼミプログラムです。世代や距離を超えて関心を共有する若者が、全5回程のゼミを通じて学び合います。伝統産業やキャリア、まちづくり、観光など多様なゼミの中から自主的に選択することが可能で、「ちょっとした関心」から参加ができます。実地でのフィールドワークなども実施し、なんとなくの興味を自ら深め、探求していく機会になります。

1 年齢・肩書き・距離を超え  
多様な人、地域と出会う

2 地域でのキャリアや挑戦に触れ  
知見を広げる

シゴトリップ

1日単位から地域に出会えるプログラムです。連続して参加することで、複数の地域や企業、挑戦する人に出会い、比較しながら仕事やキャリアについて考えることができます。経営者や社員へのインタビュー、業務体験ワークショップ、現場見学など、比較しながら学べるため、高校生や大学低年次などであっても参加しやすく知見や視野を広げる機会になります。

多様な  
変容機会

4 自己理解を深め  
自身の判断基準を持つ

3 地域で実践し深く知る  
働くイメージを持つ

ホンキ系／  
有給型長期実践プログラム

若者の興味関心に基づき、長期間挑戦する実践型インターンシップです。経営者の元へ弟子入りし、プロジェクトを実践することで、課題解決や価値創出を経験できます。コロナ禍では、経済的支援が必要な若者が、給与を得ながらリモートで実践できる「有給型長期実践プログラム(キャッシュフローワーク:CFW)」など、若者が抱える課題解決と実践経験が両立する機会づくりも実施しています。興味関心に留まらず、確かな経験を積み上げることで地域を担う地力を高めています。

#### 伴走型キャリアサポート

若者たちが様々な経験を振り返りながら、興味関心を探求し、キャリア観、仕事観など自身の価値観を磨きます。長期間に渡ってプロのコーディネーターが伴走し、過去、未来、現在の様々な視点で考え、自己の理解を深めていきます。地域や社会と向き合いながら、仕事や働き方、自身の目標など、理想と現実を行き来しながら考える機会を提供することで、若者自身がオーナーシップをもって自律的に選択できる人材への成長を支えています。

変化・成長により

地域への当事者性が  
磨かれる

「地域」でのキャリアが  
選択肢のひとつになる

#### 5 選択肢となる企業と出会う

東海ヒトシゴト図鑑／ふるさと兼業

若者たちが共に挑戦したくなる企業と出会うプラットフォームです。社会的認知だけでなく、誰が、何を目指し、どんな挑戦をしているのか?という深みのある情報と、インターンシップから就職までの多様な関わり方を提供することで、若者たちの納得感あるキャリア選択をサポートします。また都市部への移住や就職後でも、地域や興味関心のある産業に隙間時間から関わる機会づくりも支援しており、どんな環境であっても挑戦できる環境をつくっています。

自律したキャリア選択ができる人材／地域の未来を担う人材へ

# 誰もが地域への関わり方を 選択できる仕組み・環境づくり

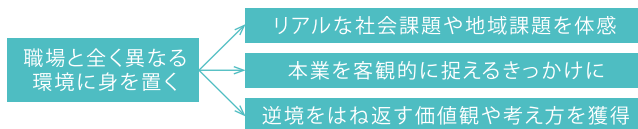
G-netは、様々な事情で地域を離れていても、地域に関わり続ける仕組みづくりを進めています。  
本業や居住地など置かれた状況に左右されず、意欲次第で挑戦できる環境を整えることで、地域への人材還流を促進します。



## 大手連携・越境型研修 参加者・受入企業双方の成長機会

地域課題をフィールドに、本業では経験できない実践機会に飛び込む越境型学習プログラム

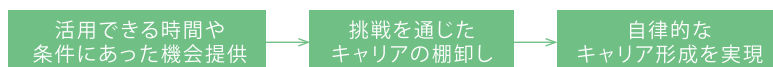
「プロボノ制度を活用した地域の経営課題解決プログラム」は、ふるさと兼業のコーディネートノウハウを活かした越境学習プログラムです。週4時間程度/オンラインベースで、チームを組んで地域の課題解決に挑みます。これまで、富士ゼロックス株式会社（現富士フイルムビジネスイノベーション株式会社）、トヨタ自動車株式会社先進技術カンパニーなど2社で導入されています。



## ふるさと兼業 隙間時間を活用した挑戦機会

愛する地域や共感する事業に、プロジェクト単位でコミットできる副業兼業プラットフォーム

地域を離れても地元を応援したい、本業の隙間で共感する事業に貢献したい、自身の成長やキャリア自律に取り組みたいなど、これまで機会を見いだせずにいた人へ、副業などの新たな働き方をコーディネートしています。コーディネーターが伴走することで、ミスマッチを減らし、プロジェクト中の様々なトラブルをサポートする体制も整えています。現在は実践者の多くが会社員ですが、今後は育児や介護との両立、病気療養中でも参画出来るような“真に”誰もがどこからでも挑戦出来る仕組みを整えていく予定です。



## お試し事業継承・CxO グラデーションで仕事に関わる

週1日から経営幹部にもなれる。

0か100かの就業移行から、グラデーションあるキャリアチェンジへ

週1日から地域企業の経営幹部になれる「お試し事業承継」「お試しCxO」プログラム。事業承継を考える経営者と挑戦意欲ある候補者が、一定期間共に事業運営に取り組むことで、効果的かつミスマッチのないマッチングをサポートします。通常のふるさと兼業よりもコミットメント度合いや企業からの期待が高い点が特徴です。年間をかけて事業承継するプロジェクトや、数か月後の入社を意図した募集、CxOなど責任あるポジションへのキャリアチェンジを伴ったマッチングをすることで、ライトな副業でも転職でもないグラデーションある関わり方を可能にします。

グラデーションのある所属の仕方、段階的な責任の移行が、地域との多様な関わり方を増やしていく一つの手段になると考えています。

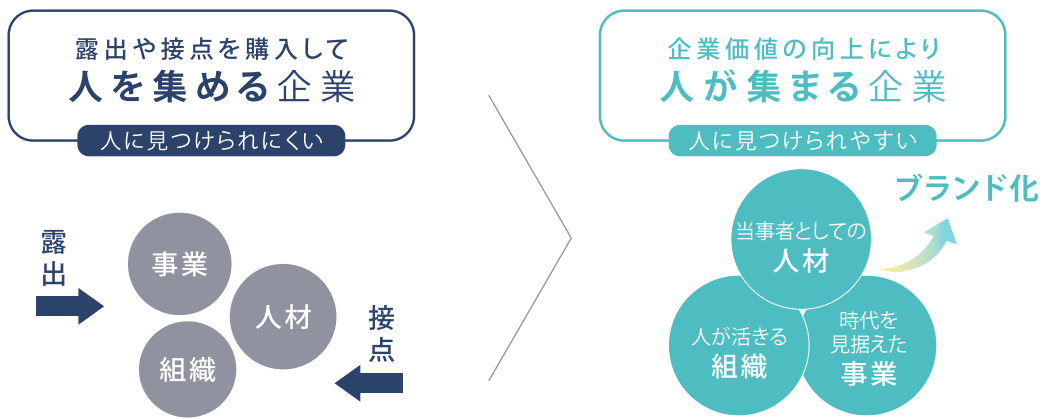
# 人が集まる魅力的な企業へ 変革をサポートする、長期的な伴走支援

G-netは、人と地域との接点、関わりシロのコーディネートを通じた「人が集まる地域・企業」づくりに取り組んでいます。多様な人材との共創機会が、地域の課題の可視化や挑戦の推進に繋がり、結果として地域や企業そのものの変革を推進します。長期的な視野をもって伴走を続け、企業と人の好循環を生み出していきます。

目指す姿

## 消費する人材戦略から、投資する人材戦略へ

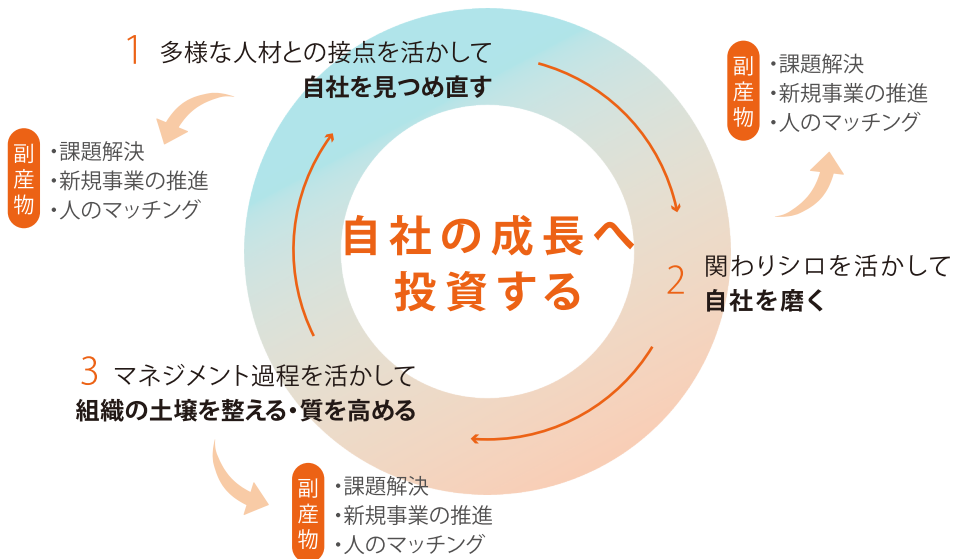
人材をどう集めるか、どう見せるかといった「露出増や接点創出への投資」だけでは、短期的成果は生み出せても、常にコストをかけ続けなければいけません。G-netは、企業自身の成長を軸に魅力的な企業への変革を促し、人が集まる状態を生み出す人材戦略を目指します。多様な人材を惹きつける挑戦性と人を活かす柔軟性を備えた、選ばれる企業づくりが大切だと考えています。



役割

## 刹那的なマッチング支援でなく長期的な企業変容(成長)支援

人を活かし、自らを見つめ磨き、挑戦し続ける企業の次なるチャレンジと変革に寄り添います。社員をはじめとした多様な人材の力を引き出し、活かせる組織への変容と、挑戦が生まれる風土づくり、そして魅力的な事業創出に取り組む企業への変容が、人材からの求心力・ブランド力を高め、結果として新たな人材が「自然と集まる」状態をつくります。



人材を活かせる組織へ変化し、人材が活きる挑戦フィールドとして求心力が高まっていくことで  
**挑戦意欲のある新たな人材を引き寄せる**

# 数字で見る2021

2021年度も、多様な人がさまざまな方法で地域の挑戦に出会い、関わり、共に実践しました。  
ここでは具体的なデータをご紹介します。

## つながるキャンパス



登録者

**1,060**名

※2020～2021年度累計

(内訳) 参加学生 **873**名

協賛サポーター **187**名

参加者エリア **47**都道府県, **7**か国

地域・多様な生き方との出会い

### プログラム

プログラム実施 **181**回

参加者 約**900**名

### サークル

サークル開設 **23**サークル

参加者 **448**名

個別キャリア  
サポート実施

**186**名

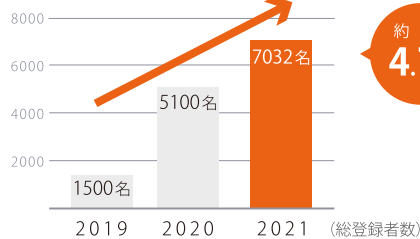
## ふるさと兼業

登録者

**7,032**名

※2018～2021年度累計

地域企業の  
プロジェクトへ参画



マッチング数 **270**名

累計マッチング数 約**750**名

掲載プロジェクト

**142**件

3年間で  
約**4**倍

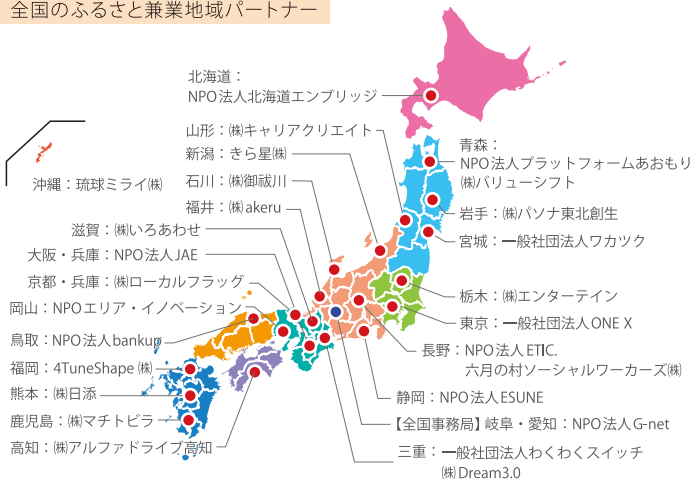
越境型研修 **9**プロジェクト

研修参加 **27**名

地域パートナー **26**団体

連携自治体・団体 **21**件

全国のふるさと兼業地域パートナー



## 企業伴走

全事業での  
伴走企業

**98**社



ふるさと兼業  
年間伴走支援  
採用伴走支援  
先進PT☆プロボノ  
CFW  
行政・自治体事業 など

## インターンシップ

実践型インターンシップ

参加学生 **873**名

※2004～2021年度累計



### 有給型長期実践プログラム

コロナ禍で経済的影響を受ける  
若者支援プログラム

参画企業 **22**社

エントリー **104**名

マッチング **21**社 / **33**名



### シゴトリップ

参加学生 **1,011**名

※2013～2021年度累計



参加学生 **283**名

連携エリア **14**地域

受入企業 **38**社

### 連携大学

授業実施 **9**大学

愛知淑徳大学/名古屋経営短期大学/名古屋学芸大学  
名古屋産業大学/名古屋学院大学/大正大学/名城大学  
南山大学/(仮称) Co-InnovationUniversity

## 就職採用支援

マッチング **5**名 / のべ **117**名

※2021年度  
※22卒

定着率 **71**%

※入社より3年以内  
※2015～2021年度 累計

コロナ禍で事業を  
事実上ストップしたことで  
マッチング数が大幅に減少

### オンラインで地域とつながる

全国の高校生・大学生をはじめとした若者が無料で参加できるオンラインキャンパス。  
つなキャン生、U24運営委員、社会人運営メンバーとして、多様な関わり方が可能です。

>>



web site

つながるキャンパス

### プロジェクトを探す・参画する

大学生も社会人の方も、インターンや兼業・プロボノとして地域企業のプロジェクトに参画できる機会を提供しています。

>>



web site

ふるさと兼業

### 伴走型キャリアコンサルティング

コーディネーターと1対1で、キャリアに関する相談ができます(無料・随時受け付け中)。キャリアコンサルタント資格保有者も在籍。今・これからの時代に必要なキャリア観を捉えつつ、納得感あるキャリア形成をサポートします。

>>



つなキャリア1on1 就活伴走

### 経営者または後継者への伴走コンサルティング「年間伴走」

3～5年後の事業計画や現状の課題の整理、長期的に見た採用戦略についてなど、経営者の皆様の相談相手となりながら、解決に向けて打ち手の洗い出し、現場への落とし込みをサポートします。



1社1社カスタマイズしたプロジェクト設計



単なる紹介でないミスマッチを防ぐマッチング



ゴールまで企業と人材双方への伴走

無料相談  
受付フォーム



form

#### 事業開発に共に取り組む

- ・商品・サービスの販路拡大や開発
- ・新規事業の立ち上げ(小さなトライ&エラー) など

#### 組織開発/人材育成に共に取り組む

- ・幹部候補・ミギウデ人材の採用
- ・社員の育成やモチベーションアップ など



## 地域企業の多様な人材活用推進、地域の関係人口創出

地域産業の課題解決や地域の関係人口創出を、ふるさと兼業やコーディネーターノウハウを活用して支援しています。自治体のオープンイノベーションの推進や、地域課題の解決など、様々な事業づくりをサポートします。

## 地域の人事部立ち上げ・運営支援

個社支援だけでなく、地域企業を面で支える人事部機能の立ち上げを支援しています。フルタイム採用だけでなく多様な人材活用、人材への啓発から育成、定着まで一貫通貫でサポートできる支援体制を地域に構築していきます。

## 越境型社外研修プログラム「シェアプロ」

### 大手企業×地域企業による課題解決実践を通じた人材育成

「ふるさと兼業」の仕組みをベースとした、越境学習型の研修プログラムを企画しています。地域企業やNPO団体など、地域課題、社会課題の解決に挑戦するフィールドへの参画を通じた研修機会を提供します。

## ソーシャルスポンサードプログラム

広告出稿による社会課題解決支援プログラムを、ふるさと兼業の仕組みを活用して運営しています。財政基盤の安定しないソーシャルビジネス領域に、意欲ある人材のマッチング機会を大手企業と連携して提供しています。

## 連携機関のご紹介

### 連携企業・団体

株式会社ガクトラボ  
 岐阜県プロフェッショナル人材戦略拠点(登録事業者)  
 求人ステーション(認定事業者)  
 NPO法人コラボキャンパス三河  
 株式会社シゴトヒト(日本仕事百貨)  
 株式会社仕事旅行社  
 NPO法人新公益連盟  
 NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク(大ナゴヤ大学)  
 一般社団法人地域・人材共創機構  
 一般社団法人地域問題研究所  
 チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト  
 認定NPO法人D×P  
 一般社団法人東海若手起業塾実行委員会  
 トヨタ自動車株式会社翔の会  
 公益財団法人日本財団  
 株式会社人と土  
 一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会  
 株式会社まんまる笑店  
 株式会社Yogibo  
 一般財団法人リープ共創基金

### 金融機関

岐阜信用金庫  
 百五銀行  
 飛騨信用組合

### 大学・教育機関

(仮称)Co-Innovation University  
 名古屋学院大学  
 名古屋産業大学  
 名古屋商科大学  
 法政大学大学院石山研究室  
 名城大学 社会連携センターPLAT

### 行政・自治体

岩倉市役所  
 白川町役場  
 中部経済産業局  
 公益財団法人東京観光財団  
 豊田市役所  
 飛騨市役所

(50音順)

(都道府県コード順)

### ふるさと兼業地域パートナー

NPO法人北海道エンブリッジ  
 NPO法人プラットフォームあおもり  
 株式会社バリューシフト  
 株式会社バスナ東北創生  
 一般社団法人ワカツク  
 株式会社キャリアクリエイト  
 株式会社エンターテイン  
 一般社団法人ONE X  
 きら星株式会社  
 株式会社御碓川  
 株式会社akeru  
 NPO法人ETIC.  
 六月の村ソーシャルワーカーズ株式会社  
 NPO法人ESUNE  
 一般社団法人わくわくスイッチ  
 株式会社Dream3.0  
 株式会社いろあわせ  
 株式会社ローカルフラッグ  
 NPO法人JAE  
 NPO法人bankup  
 NPOエリア・イノベーション  
 株式会社アルファドライブ高知  
 4TuneShape株式会社  
 株式会社日添  
 株式会社マチトピラ  
 琉球ミライ株式会社

# Partner Message

石山恒貴氏 法政大学大学院政策創造研究科教授



G-netさんの取り組みは、人材育成に取り組む研究室として、かねてから時代の最先端であると注目していました。昨年度から、いよいよ念願がかなって、G-netさんと当研究室で様々な共同研究ができるようになり、うれしく感じております。また代表の南田さんには、東北経済産業局の研究会の委員の就任などをお願いいたしました。なぜG-netは最先端なのか。それはG-netさん自身が地域の中核プレーヤーであることにこだわり、地域社会こそが当事者意識と主体性を持つことを大事にしながら、人材を育成し、賑わいのある状態の地域の実現に挑戦しているからです。ふるさと兼業、実践型インターンシップ、つながるキャンパスなど、各種事業にこの考え方が共通していると感じています。共同研究を進める中で、G-netさんの存在が地域社会にどのような化学反応を生じさせていくのか、しっかり説明していきたいです。

西田陽氏 トヨタ自動車株式会社 2021年度翔の会幹事



G-netとの出会いは、地元企業からの紹介でした。私は当時、地域の抱える課題を外部の人と協力して解決する事でお互いに成長できる仕組みを検討しており、地元(岐阜県関市)からまずははじめようと準備をしていました。そのなかでG-netを知り、理念に共感、副業兼業メンバーとして、イベントの企画や社内有志メンバーを集めてG-netの抱える経営課題の解決に挑戦する企画の運営など実施しました。これらの活動を通して、G-netがいかに地域の問題に当事者意識を持って活動をしているか、また少数精鋭で効率の良い働き方をしているかなどもより近くで感じることができ、私はもちろん参加者からも好評いただきました。これからもG-netと共に様々な地域の課題を当事者として解決していきたいと思っております！

杉谷昌彦氏 ミテモ株式会社 シニアディレクター



G-netとの出会いは2018年の冬、「シェアプロ」でした。そこで地域の事業者さんの課題に寄り添いながら、若者に多様な実践知を得る場を提供し、さらに地域内外の社会人を巻き込んで地場産業や地域企業の課題解決に取り組む姿勢は、地域のサステナビリティを高めることに繋がっていると強く感じました。

その信念に共感し、私が現職でリードしている名古屋事業の中小企業向け新事業開発プログラムFUXIONの企画段階からG-netに相談し、2020年より支援をいただいています。

各地域の企業が持つ、過去から紡いできた歴史や思いを価値化し、日本に、世界に、後世につなげていく実践者として、さらに、そこに関わる人々に多様な実践知を得る場を創りつづけ、仲間を作る場づくりの実践者として、私も切磋琢磨できる仲間でありたいと思っております。

水谷衣里氏 株式会社風とつばさ 代表取締役



意志から生まれる変革の可能性を心から信じ、チャレンジャーを支える場と機会を創り出すこと。挑戦に伴走し、組織や社会の変化へとつなげること。それがG-netの魅力であり、本質だと思います。

G-netの皆さんとはこれまでUIターン人材の育成支援や、企業研修を通じた越境学習の機会づくり、そして飛騨高山に誕生予定の大学“ColU”を通じた取り組みなど、さまざまな場面を一緒にしてきました。年を経るごとにプログラムの幅が広がり、そして関わる人や組織も広がり続けていることに、いつも尊敬の念を覚えています。

G-netはこの先もずっと、数多くの挑戦の機会を創り出し、学び合うコミュニティを育てて下さるのだと思います。岐阜というリアルな場から始まった実践と学びが、東海そして全国へと広がっていく。そんなG-netの成長をこれからも楽しみにしたいと思います。

安川綾子氏 豊田市産業部産業労働課 企業支援・労政担当 担当長



補助金以外のアプローチで、コロナ禍にある中小企業の変革を後押しするため、令和3年度の新規事業として、経営課題にチャレンジする中小企業と外部人材を繋ぎ、伴走して支援する「副業・プロボノ人材活用プログラム」を立ち上げるにあたり、G-netとのご縁をいただきました。プログラムへの参画を通じて、地元企業がエンパワメントしていく様子を間近で拝見し、今後の展開への期待が高まるとともに、人への投資に対する価値が見直される、変化の時代にあつて、G-netが、これまでに積み重ねた実績やそこから得られる知見は、地域社会、中小企業から、今後ますます必要とされるであろうと、強く感じています。これからも、真に企業のためになる支援のあり方を提示、実践するG-netの取り組みに期待するとともに、一層のご活躍を心から応援しています。

# 2021年度会計報告 (2021年6月1日～2022年5月31日)

## 総括

2021年度は収益が9,646万円(前年度比約127.4%)、支出は8,777万円(前年度比約125%)、正味財産増減額は869万円でした。自主財源収益は前年度比114.1%となりました。引き続き、行政の兼業副業に関する事業推進の後押しと、コロナ禍に伴う支援により、行政受託収益は前年度比129.8%、補助・助成収益も前年度比150.7%となりました。

事業別では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減収していたインターン・若者支援事業は、コロナ禍で経済的被害を受けた若者の新たな就労支援のための助成により約1,000万円の増収、また、行政の事業推進の後押しにより、プロボノ・兼業支援事業は約1,700万円の増収となりました。引き続き、就職・採用支援事業は事業縮小となっており、事業の再構築を進めております。

今期の利益は、翌期以降の、より積極的な事業推進のため、事業投資と体制づくり強化に充ててまいります。

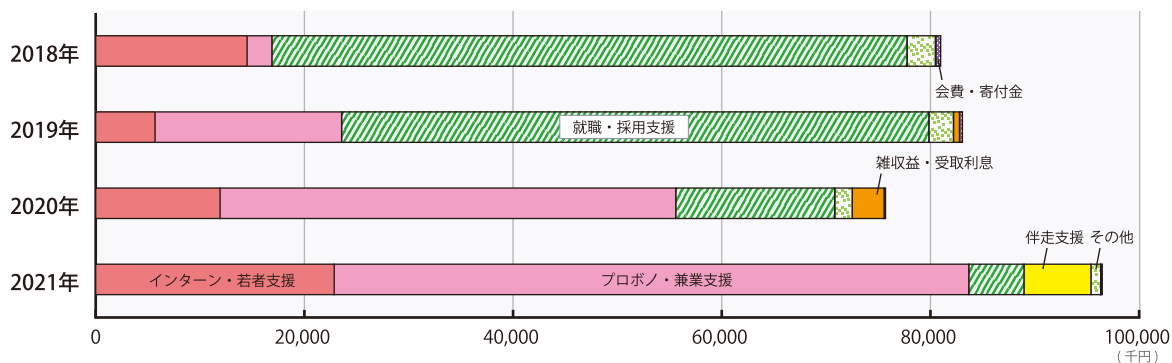
## 収支推移

	(前年比)	2021年	2020年	2019年	2018年
収益	127.4%	96,466,083	75,696,828	83,065,894	80,981,034
支出	125.0%	87,773,016	70,239,212	84,376,498	80,752,827
正味財産増減額	-	8,693,067	5,457,616	-1,310,604	228,207

## 収益種類

	(前年比)	2021年	(全体に占める割合)	2020年	2019年	2018年
自主財源	114.1%	29,064,076	30.1%	25,481,099	40,920,224	45,186,544
行政受託	129.8%	48,182,887	49.9%	37,110,644	31,016,749	31,790,799
補助・助成	150.7%	19,218,445	19.9%	12,753,030	10,558,519	4,000,000
その他	0.2%	675	0.001%	352,055	570,402	3,691

## 全体・事業別収益の推移



	2021年	2020年	2019年	2018年
■ インターン・若者支援	22,858,263	11,919,820	5,685,969	14,508,693
■ プロボノ・兼業支援	60,817,588	43,671,976	17,881,091	2,374,884
■ 就職・採用支援	5,288,859	15,231,820	56,278,233	60,860,743
■ 伴走支援	6,417,437	0	0	0
■ その他	933,587	1,691,561	2,366,955	2,745,902
■ 雑収益・受取利息	849	3,040,051	570,402	423
■ 会費・寄付金	149,500	141,600	283,244	490,389

## 2021年度 活動計算書

科目	金額 (円)
<b>I 経常収益</b>	
1. 受取会費	134,000
2. 受取寄付金	153,520
3. 受取助成金等	19,218,445
4. 事業収益	76,959,443
5. その他収益	675
経常収益計	96,466,083
<b>II 経常費用</b>	
1. 事業費	87,198,014
2. 管理費	575,002
経常費用計	87,773,016
当期正味財産増減額	8,693,067

## 2021年度 貸借対照表

科目	金額 (円)
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	94,345,899
2. 固定資産	444,506
資産合計	94,790,405
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	20,197,655
2. 固定負債	35,000,000
負債合計	55,197,655
<b>III 正味財産の部</b>	
正味財産合計	39,592,750
負債及び正味財産合計	94,790,405

## ご寄付について

G-net サポーターとして、チャレンジを支えていただけますよう、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

### ● 継続寄付

- 1) コロナ禍の高校生・大学生救済応援寄付 1,000 円 / 月
- 2) G-net チャレンジサポート賛助会員  
個人会員 …… 1,000 円～ / 月 12,000 円～ / 年  
法人会員 …… 5,000 円～ / 月 60,000 円～ / 年
- 3) ビーンズファンド 1,000 円 / 月

### ● 単発寄付

- 1) コロナ禍の高校生・大学生救済応援寄付 1,000 円 / 口
- 2) G-net チャレンジ応援寄付 3,000 円 / 口
- 3) ビーンズファンド 3,000 円 / 口

### ● 協働サポーター

『つながるキャンパス』の協働サポーター参画 1,000 円 / 月

### ご支援方法



クレジットカード決済対応  
<https://kessai.canpan.info/org/gnet/>  
① web site



銀行振込の場合はこちら  
① Google form

年間一括  
銀行振込

銀行名 十六銀行  
支店名 柳ヶ瀬支店  
口座番号 普通 1550777  
口座名 トクヒ) ジーネット